

林野庁プレスリリース(9月)

- 「森林組合等の組織及び事業運営に関する今後の指導の方針について」の一部改正(9/3)
- 林政審議会の開催及び一般傍聴(9/3)
- 「日中林業担当局の長による定期対話」の結果概要(9/7)
- 第15回APEC首脳会議における気候変動に関する首脳宣言の採択(9/10)
- 林政審議会の概要(9/14)
- 「平成18年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」及び「平成18年度国有林野事業の決算概要」(9/14)
- 美しい森林づくりのための「効率的な森林整備の推進方策について意見を聞く会」の概要(9/20)
- 第6回「森の“聞き書き甲子園”」参加高校生と「森の名手・名人」の組み合わせの決定(9/21)
- 「農業協同組合、森林組合及び漁業協同組合間における事業連携促進方策」の中間取りまとめ(9/26)
- 平成19年度「木づかい推進月間」 9/27に訂正(9/27)
- 平成18年木材需給表(丸太換算)の概要(平成18年1月～12月)(9/28)
- 「平成19年木材(用材)需給見通しの見直し」(9/28)
- 「主要木材の短期需給見通し(平成19年第4四半期及び平成20年第1四半期)」(9/28)

林野 RINYA 10月号 No.7

平成19年10月15日発行

発行 林野庁

〒100-8952 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

電話 03-3502-8111(代) FAX 03-3591-6505

編集 株式会社トレイントラックス

東京都渋谷区富ヶ谷1-41-7 クリサンテ1002

印刷 財団法人林野弘済会

東京都文京区後楽1-7-12

林野庁 一口メモ

紅葉(黄葉)のしくみ

紅葉とは、植物の緑葉の色が変わること。多くの場合は赤か黄色に色づきます。これは植物が持つ主要な色素、クロロフィル(緑色)、カロチノイド(黄色)、アントシアン(赤色)によっておこります。

古い葉でクロロフィルの分解が進み、緑色に隠されていたカロチノイドの黄色が現れてくるのが黄葉です。古くなった葉の葉柄などに離層ができ、葉と枝の間の物質の行き来が妨げられて、葉に溜まった同化産物からアントシアンが作られるのが紅葉です。黄葉の代表はイチョウ、紅葉はモミジ。カキノキは緑赤黄のまだら模様になります。

こうした葉の色変わりは一般に葉が落ちる前におき、時期としては秋や乾季の始まりの頃におこります。

常緑樹は普通一斉には葉を落とさないのを目立ちませんが、モッコクなどは年中、樹冠のどこかに赤や黄色の葉を見ることができます。なお、カナメモチなど新緑が赤くなる植物もあります。この赤もアントシアンの色で紫外線から若い葉をまもるなどの役割があると考えられています。

今年も紅葉の時期がやってきました。紅葉狩りに、秋山に出かけてみるのも楽しいですね。



編集 後記

子どもたちが参加する森林での間伐体験やレクリエーションに関する取材をするたびに、今夏、ある取材で耳にした一言が、数か月経った今でも心に沸きかえつてきます。

「最近の子どもたちは、身近に森や林があっても、そこで遊ぶことはもちろん、入るうともしない。森に入るだけでも、いろいろな発見があつて、それ自体が環境学習になるんですけど……時代ですかね」

その場所は山間地。周囲を木々に覆われ、通路の脇もひたすら木々。そんな豊かな緑に囲まれた場所で生活していても、森林には入らない子どもが多いという現実があります。その背景には、森林で事故に会わないように、という世相を反映した親の教えがあります。それにしても……と思いつつ、いまだに自分の中でも答えが見出せていません。